

南アフリカが2016年度予算を発表

ポイント① 2016年度予算を発表

南アフリカ財務省は2月24日、2016年度予算を発表しました。格付会社による格付引き下げ方向での見直しを控える中で、今回の予算は大きな注目を集めていました。昨年12月の2回に渡る突然の財務相交代後、新しい財務相は格下げを回避するために必要な政策を打ち出すと発言していたものの、今回の内容は市場の期待に応えるほどのものではありませんでした。

ポイント② 財政赤字は小幅縮小見通し

予算では、2016年度の財政赤字はGDP比3.2%と従来の3.3%から小幅に縮小する見通しが示されており、所得税や燃料税など課税の強化や公務員の新規雇用の凍結など支出の削減が盛り込まれています。しかし国営企業の民営化や官民パートナーシップの推進など、より踏み込んだ内容は盛り込まれず、景気が減速する中での財政目標達成には難しいかじ取りを迫られます。

また、政府は16年のGDP成長率の予測を前年比+0.9%と、昨年10月時点の+1.7%から大幅に下方修正し、消費者物価指数の上昇率は16年に前年比+6.8%と、中央銀行の目標上限である6%を大きく上回ると予想しています。

ポイント③ 今後は成長戦略が課題

予算の発表を受けて、2月24日のニューヨーク外国為替市場では、対米ドル、対円ともに前日比2.3%程度の南アフリカランド安となりました。10年国債利回りは前日比で0.17%ほど上昇しています。

南アフリカは、インフレに対応した金融政策を行なうなど、中央銀行の信任が市場から厚い側面もあります。中長期的には、国営企業の民営化等、成長戦略で市場の信頼を高めることが重要になります。今後も格付会社による評価などに注目が集まります。

重要
イベント

2月29日 財政収支 (1月)
3月 1日 GDP (10-12月)
3月17日 金融政策発表

図1：GDP成長率と財政収支の推移

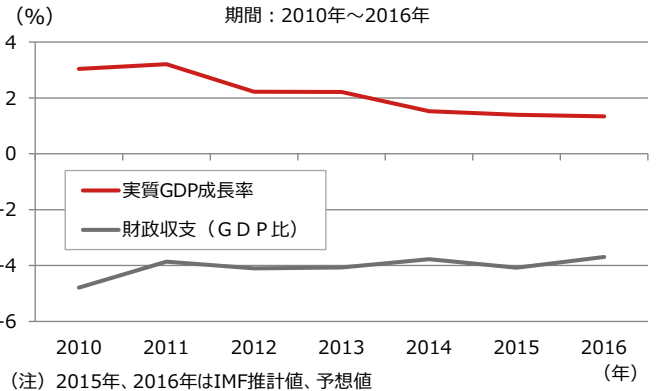


図2：政策金利、10年国債利回りの推移

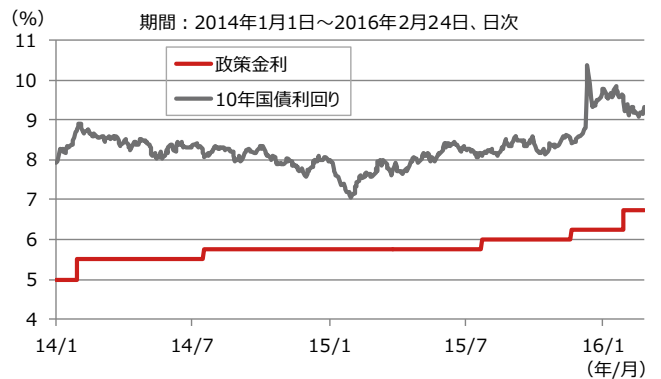
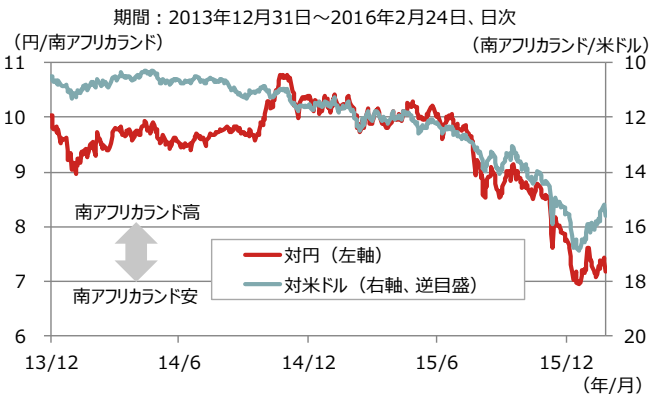


図3：為替レートの推移



(出所) IMF、ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。